



シンガポール駐在員事務所開設と シンガポールでのビジネスの魅力

1 シンガポール駐在員事務所の開設

福岡銀行（以下、当行）では、現在の海外4拠点（大連、上海、香港、ニューヨーク）に次ぐ5カ所目の海外拠点として、シンガポール駐在員事務所を2011年12月20日に開設致しました。現地に駐在員事務所を置く邦銀の地方銀行では8行目、九州の銀行では唯一の拠点となります。

今年1月には、現地のホテルにて頭取の谷、副頭取の小幡、常務の福田らが出席し、「福岡銀行駐在員事務所オープニングレセプション」を開催致しました。ご来賓代表として、鈴木庸一駐シンガポール大使にご出席頂いた他、シンガポール国内はもとより日本国内からも当行のお取引様を中心に総勢130名を超える方々にご出席頂きました。改めまして心より御礼申し上げます。

当シンガポール駐在員事務所では、シンガポールの他、経済発展著しいインドやインドネ

シア、マレーシアやブルネイ、フィリピン、北オセアニア等を担当エリアとしています。

これらの国や地域において、新たに現地への進出を検討されるお客様や、現地での仕入・販売先の拡大を志向されるお客様等からのご依頼に基づき、必要な情報を調査・収集し、ご提供して参ります。ご相談等につきましては、お近くのふくおかフィナンシャルグループの各銀行（福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行）の窓口までお気軽にお問い合わせ下さい。



福岡銀行シンガポール駐在員事務所が入居するOne George Street

2 シンガポールでのビジネスの魅力

■はじめに

シンガポールの在留日本人登録者数は2万4,548人（外務省「海外在留邦人数調査統計（平成23年度速報値）」）に上っており、当地に拠点を構えている日系企業は大小合わせて1,000社近くあります。このうち、九州を本社とする企業も数十社あります。

シンガポール経済について見てみると、実質GDP成長率は、09年が▲0・8%、10年が14・5%、11年は4・8%程度（シンガポール通商産業省速報値）と、リーマンショックの影響を受けながらも力強い成長を続けています。また、1人当たりの名目GDPの金額でも、10年は43,117ドルと、日本（42,783ドル）を追い抜いてアジアの国々でトップの座に躍り出た他、世界銀行のビジネス環境レポートでもシンガポールは、09年、10年と2年連続して「世界で最もビジネス

表1 アジアの主要国・地域の対内直接投資
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位:百万ドル)

	2009年	2010年	伸び率	ASEAN5 内シェア (2010年)
ASEAN5	28,524	69,078	142%	100%
タイ	4,976	6,320	27%	9%
マレーシア	1,430	9,103	537%	13%
インドネシア	4,877	13,304	173%	19%
フィリピン	1,963	1,713	▲13%	2%
シンガポール	15,279	38,638	153%	56%
インド	35,649	24,640	▲31%	
中国	114,215	185,081	62%	
台湾	2,805	2,492	▲11%	
日本	11,839	▲1,359	▲111%	

出所:JETRO

表2 シンガポールの人口と外国人数(非永住者)の推移

(単位:人、%)

	総人口	うち、非永住外国人	左記、比率
1970年	2,074,500	60,900	2.9
1980年	2,413,900	131,800	5.5
1990年	3,047,100	311,800	10.2
2000年	4,027,900	754,500	18.7
2011年	5,183,700	1,394,400	26.9

出所:The Singapore Department of Statistics

に適した国」に選ばれており、海外から多くの人やマネーが集まっています(表1、2)。
 それでは、東京23区とほぼ同程度の面積しかないこの都市国家が、なぜこれ程までに発展したのでしょうか。そして、世界中から多くの企業を惹きつける魅力はどこにあるのでしょうか。その疑問について、幾つかの視点から考察してみます。

■シンガポールでのビジネスの魅力

①低い法人税率

まず、第一に挙げられる魅力は低い法人税率です。

シンガポールの法人税率は最高で17%と、日本(約40%)の半分以下、そして香港(16・5%)と並んで世界でも最も低い水準

にあります。加えて、新規事業者や利益の少ない企業、及び政府が認めた業種等に対する優遇措置も各種講じられており、実際には税率が17%をかなり下回るケースも珍しくありません。現地に進出されている日系企業をはじめ外国の企業の多くが、この税率の低さに魅力を感じているようです。

話す国民が多いことと教育水準の高さが挙げられます。
 シンガポールの公用語は、英語、中国語(北京語)、マレー語、タミル語の4言語ですが、教育現場においては、基本的に全ての公立校で英語での授業が行われています。また、学歴社会が浸透している為、国民の教育水準も総じて高く、国民の多くが英語を話すことが出来る他、2カ国語以上話すことが出来る国民も多いことから、外国企業の社員との意思疎通が円滑に図りやすいことも、外国企業の進出を促進しているようです。

②外国資本に対する規制の少なさ

次に、外国資本に対しての規制が少ないことが挙げられます。

「知識集約型経済構造の確立」を目指すシンガポール政府は、外国資本による先端技術部門や高付加価値産業部門、研究開発部門、そしてビジネスハブ機能の強化に役立つサービス部門等への投資を奨励しており、投資に関する優遇策について外国資本と国内資本との間に差を設けていません。

この国は、法を犯した際に高い罰金を科せられる他、鞭打ちの刑といった厳しい罰則が存在する国としても有名なこともあって、治安が非常に良く、外国企業の駐在員やその家族にとって快適な生活環境が整備されています。実際、夜遅くに仕事帰りの女性が一人で歩いて帰宅している光景も目にします。

④治安の良さ

四つ目の魅力として、シンガポールの治安の良さが挙げられます。

五つ目の魅力は、シンガポールの良好な地理的条件と整備されたインフラです。

⑤良好な地理的条件と整備されたインフラ

シンガポールの人口は5百万人余りの為、国内マーケット自体は非常に小さいと言えますが、地理的にアジアの中心に位置している

③英語圏と高い教育水準

三つ目の魅力として、英語を

が言えます。
 ビジネスを開始するにあたっての障壁がかなり低いということ
 ポールでは諸外国に比べると、



ことに加えて、人口2億人を超えるインドネシアをはじめとした東南アジア諸国や、インドや中国といった成長を続けている国々と距離的に近いことも、この国の優位性を高めています。

また、外国資本による投資を奨励している政府は、前述した税制面を中心とする各種優遇措置に加えて、インフラ面の整備にも注力しています。

電気やガス、水道といった公共インフラの安定供給はもちろんのこと、道路や空港・港湾、物流施設等についても、国際的な競争力を高めるべく生産性・効率性を考慮した整備がなされており、非常に恵まれたビジネス環境を構築しています。

例えば、アジアのハブ空港として有名なシ

ンガポールのチャンギ国際空港は、シンガポール航空をはじめとする世界中の航空機が24時間体制で離発着を繰り返しているながらも、81年の開港以来、国際定期航空操縦士協会連合会（IFALPA）より「欠陥ゼロ」の格付けを受け続けている他、航空業界の賞も多数授与される等、安全面で世界でも最高クラスの評価を受けています。また、貨物ターミナル等の物流施設も十分な処理能力を備えています。

更に、港湾施設についても、もともとマラッカ海峡を通る海上交易で栄えてきた国ということもあって、コンテナエリア等を含めて施設が大変充実しており、世界を結ぶハブ拠点として活用されています。

⑥その他

以上の項目の他にも、シンガポールには様々なメリットが存在します。

まず、保有している資産の価格上昇により発生する売買差益（キャピタルゲイン）が非課税という点です。これは、企業の海外進出先の検討に際し、事業再編等で撤退するケースまで考慮した場合、撤退の際に売却する資産の売却益が非課税となつて、その分撤退コストが少額で済むことは、進出先を選択する上で大きなポイントとなり得ます。

また、労働に関する法令についても、シンガポールでは最低賃金を定めた法令が存在し

ない為、賃金の決定は全面的に労使間での契約に従っており、使用者側にとって極めて有利な制度設計であるとも言えます。

3 最後に

ここまでシンガポールの魅力について触れてきましたが、一方で都市国家であるが故に国内マーケットが小さいことや、人件費及び不動産賃貸料が東南アジア諸国の中でも突出して高いことは考慮すべき点です。

従って、東南アジアにおいてビジネス展開を考える場合には、国による市場の大きさ、宗教、地理的要因の違いはもとより、税制や法律、人件費等の各種要因を比較分析し、ビジネスの目的と優先順位、その費用対効果について良く考えるプロセスが欠かせません。

日本が今後、一層の経済発展を遂げる為には、経済のグローバル化という現実を真正面から受け止めつつ、これまで国内で蓄積してきた貴重なリソースを基に、その可能性を活かすことが出来る市場を、国内外を問わずスピード感を持って見つけていくことが重要です。

その為には、海外ビジネスという選択肢を排除せず、様々な観点から考えていきたいものです。

（シンガポール駐在員事務所 酒口 昇）